

19. 泌尿器科 臨床研修プログラム (選択)

1. 研修目標

泌尿器科学一般およびその関連領域における診断・治療についての知識と実際の手技を短期間で確実に修得し、総合的な臨床力を養うことを目的とする。

2. 研修期間 研修期間 4 週～40 週

3. プログラム指導者と参加施設

プログラム指導者 泌尿器科 横井 繁明
基幹病院 中部国際医療センター

4. 到達目標

- 1) 基本的問診法
 - ・ 病歴、現症をとり診療録記載ができる
 - ・ 患者・家族とのインフォームド・コンセントがとれる
- 2) 泌尿器科領域疾患の知識の習得
 - ・ 奇形、外傷、炎症、腫瘍、結石
- 3) 泌尿器科的検査の実施と解釈
 - ・ 経腹、経直腸的超音波検査
 - ・ 静脈性腎盂造影、尿道膀胱造影
 - ・ 尿流動態検査
 - ・ 膀胱鏡
 - ・ 逆行性腎盂造影
 - ・ 膀胱・前立腺生検
- 4) 泌尿器科的な保存療法が実施できる
 - ・ 内服療法、食事療法
 - ・ 間欠的自己道尿の指導
 - ・ ストーマ管理
- 5) 泌尿器科的な観血的療法が実施できる
 - ・ 膀胱瘻造設法
 - ・ 経皮的腎瘻造設法
- 6) 泌尿器科的手術の理解
 - ・ 術前の一般検査とその理解
 - ・ 術後の管理法と合併症、後療法の理解
 - ・ 術前術後の処置
 - ・ 手術経過の正確な記載
- 7) ESWL（体外衝撃結石破砕）の理解と実施ができる

5. 指導体制

- 1) 研修医は、常に指導医のもとに行動することを原則とする。特に危険を伴うと考えられる検査、処置、および手術は担当指導医の看視下で行う。
- 2) 救急患者が搬入されたときは、出来るだけその初期診療から関係を持ち診療する。

- 3) 指導医の誰かが当直をするときは、副直となり病棟での救急処置や時間外患者の救急処置について学ぶ。

6. 方略

1. 指導医とともに泌尿器科患者を受け持ち、術前・術後管理、病態把握、カルテ記載、退院支援を行う。
2. 指導医の外来診療に同席し、問診、インフォームド・コンセントの取得、診療録記載を習得する。
3. 奇形、外傷、炎症、腫瘍、結石などの泌尿器科領域疾患の知識を習得する。
4. 経腹・経直腸的超音波検査、静脈性腎盂造影、尿道膀胱造影、尿流動態検査、膀胱鏡、逆行性腎盂造影、膀胱・前立腺生検の実施と解釈を習得する。
5. 内服療法、食事療法、間欠的自己導尿の指導、ストーマ管理を習得する。
6. 術前の一般検査とその理解、術後の管理法と合併症・後療法の理解、術前術後の処置、手術経過の正確な記載を習得する。手術に積極的に参加し、手術の実験を体験する。
7. ESWL（体外衝撃結石破砕）の理解と実施を習得する。
8. カンファレンスに積極的に参加し、症例発表やディスカッションを行う。

7. 評価

指導医は、自己評価結果を随時点検し、研修医の到達目標を援助する。

8. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	初診	指導医による 手術指導	指導医全員による 手術指導	指導医による 手術指導	指導医全員による 手術指導
午後	病棟回診	指導医による 検査・外来処置指導	指導医全員による 手術指導 カンファレンス	指導医による 手術指導	指導医全員による 手術指導